

2014年7月吉日

関係各位

「慶應看護100年記念事業資金」募金趣意書

慶應看護同窓会 紅梅会会長 三上れつ
慶應看護100年記念事業資金 募金発起人一同

慶應義塾における看護教育の歴史は長く、1918年（大正7年）、初代医学部長である北里柴三郎博士が、医療における看護の役割を高く評価した卓見に基づき看護婦養成所を開設されたことに始まります。その後、社会のニーズに対応したいくつかの機構の変更があり、厚生女子学院、慶應義塾看護短期大学と改組されてきました。このような歴史を土台とし、2001年4月に、慶應義塾大学9番目の学部としての看護医療学部が誕生しました。看護医療学部は、まさに21世紀のはじまりとともに、幅広い視点を持った看護医療の先導的役割を果たす人材を育成することを目的として開設され、早いもので2011年には学部開設10周年となりました。

このように慶應における看護教育は長い歴史の中で発展しながら今日に至り、2018年には100年という大きな節目を迎えることとなります。この間、福澤諭吉先生の建学の精神である「独立自尊」と「実学」を重んじる看護教育は常に変わらず連綿と継承されてきております。さらに、これからの超高齢社会の日本において、人々の健康への関心は増し、ニーズも多様化し、それに応える看護のあり方がますます問われる時代になります。慶應看護はこのような時代を先導する人材を育成し、看護のモデルを示していかなくてはなりません。

紅梅会では、100年記念事業を通じて、以下の2つのことを考えています。1つは、慶應看護100年史の発行により看護医療学部生ならびに会員の皆様が母校の歴史を理解し、さらに関心を深める機会になることです。2つ目は、学部における看護ベストプラクティス（最善の看護実践）の研究、教育に関わる事業が発展することです。現在、この事業は、質の高い看護ケアの開発、そのケアを先導するリーダーの育成、ならびに倫理的看護実践の充実に向けて動き始めております。さらなる事業の発展のためには、健康教育に関わるマテリアルの開発、マテリアルを用いた教育・研修効果の実証、eシステムを活用した地域連携によるサポート開発などといった看護ベストプラクティス研究・教育の基盤となるものを強化することが必要です。看護ベストプラクティス研究・教育の基盤強化のめざすところは、創立者が塾生に望んだ「気品の泉源」「知徳の模範」「社会の先導者たれ」という精神に通じるものがあります。

これらを実現するために、皆様のご支援を賜り、募金活動を実施することに致しました。皆様には本募金活動の趣旨をご理解いただき、ご協力・ご支援くださいますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

「慶應看護 100 年記念事業資金」募金要綱

慶應看護 100 年記念事業のための募金を行います。つきましては、慶應看護のますますの充実のため、多くのみなさまのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

- ☆寄付金の使途 以下の慶應看護 100 年記念事業の資金とさせていただきます。
- 1) 慶應看護 100 年史編纂・発行（資料・アーカイブ保存等を含む）
 - 2) 看護ベストプラクティス研究・教育のための活動
- ☆募 金 期 間 2014（平成 26）年 7 月～ 2017（平成 29）年 3 月
- ☆募 金 対 象 紅梅会会員、看護医療学部教職員（旧・現）、旧看護短期大学教職員、旧厚生女子学院教職員、趣旨にご賛同下さる方々等
- ☆募 金 目 標 額 2,000 万円
- ☆募金額の単位 一口 10,000 円、できましたら二口以上をお願いいたします。
- ☆払 込 方 法 同封の払込取扱票にご記入の上、最寄りのゆうちょ銀行（郵便局）窓口でお払い込みください。振込機能付 ATM もご利用いただけます。

☆寄付金控除

この募金は慶應義塾（特定公益増進法人）に対する特定寄付となり、税制上の優遇措置（寄付金控除）を受けることができます。

みなさまのご寄付は紅梅会にて一旦とりまとめて慶應義塾に入金いたします。

寄付金控除に必要な領収証および寄付金控除に係る証明書（写）は、後日慶應義塾よりお礼状と一緒に寄付者様に送付されます。当年分の寄付金控除（確定申告）をご利用の場合は、11 月末までにお振り込みください。

なお、寄付金控除の詳細につきましては、慶應義塾募金 Web サイトをご参照ください。
<http://www.kikin.keio.ac.jp/menzei.html>

☆ご芳名の掲載について

ご寄附を賜った方々のご芳名を、慶應義塾の機関誌『三田評論』に掲載させていただきます（掲載をご希望されない場合は、払込取扱票のご芳名欄の□にチェックを記入してください）。

<問い合わせ先>

慶應看護同窓会 紅梅会事務局
電 話 03-3341-8116（月・木曜日 13時から17時）

<寄付金控除に関する問い合わせ先>

慶應義塾基金室
〒108-8345 東京都港区三田 2-15-45
電 話 03-5427-1717（平日 9時から17時）
FAX 03-5427-1546
E-mail kikin-box@adst.keio.ac.jp

「慶應看護 100 年記念事業資金」募金発起人名簿

(あいうえお順、敬称略)

青島望美 赤木紀子 浅田頼子 阿部真理子 阿部美津子 井上裕美
江河都美 江村晴子 太田喜久子 太田佐知子 大竹政子 大谷俊郎
大西照美 大橋優美子 加藤眞三 金子智子 金子仁子 鎌倉光宏
川田悠介 北村悦子 木村チヅ子 黒澤真紀 小池智子 厚東篤生
小林正弘 小林洋子 小松浩子 近藤好枝 戈木クレイグヒル滋子
櫻木麻里子 佐々木さな枝 佐藤絵理 佐藤芳子 鎮目美代子 清水信輔
標美奈子 新藤悦子 杉本なおみ 関口梓 関戸好子 関美智子
添田英津子 武田祐子 竹ノ上ケイ子 茶園美香 中鉢美津子 富岡久子
Thomas Hardy 内藤寿喜子 中富真由美 野末聖香 野田ムツミ
朴順禮 橋本美智子 花岡真佐子 原礼子 平林洌 平松キツ子
広瀬千也子 福井里佳 福田紀子 藤井千枝子 藤村龍子 藤屋リカ
古山智也子 増田真也 増戸聡美 町出夏樹 三浦英子 三上れつ
宮川祥子 宮脇美保子 森澤暢子 矢ヶ崎香 安田恵美子 山内慶太
山下香枝子 山田法子 吉野肇一

なお、募金発起人には下記の方にお問い合わせ致しました。

現慶應義塾大学看護医療学部教職員代表、元慶應義塾大学看護医療学部長 旧慶應義塾看護短期大学学長、歴代看護部長、歴代厚生女子学院教務主任他教育関係者、慶應看護同窓会の歴代紅梅会会長、地域発起人代表者、紅梅会役員・委員会委員長・事務 (2013 年～)